



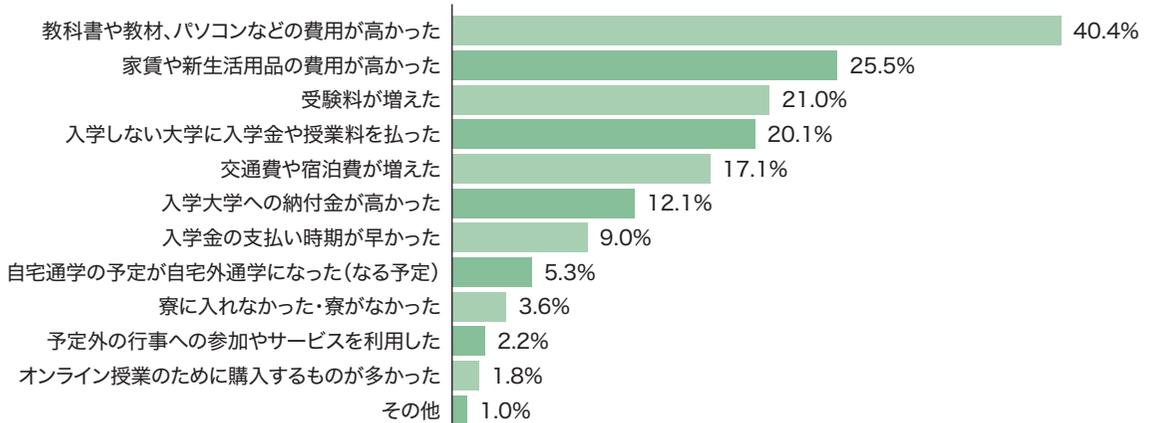
大学受験・進学費用の キホン

大学受験や進学の費用について頭を悩ませる保護者の方は、多いのではないのでしょうか。

ここでは、教育費に詳しいファイナンシャル・プランナーの新美昌也さんに、
大学に関わる費用や、そのプランニングについて伺いました。

必要な費用をきちんと把握し、「家族進学マネー会議」を開くことをお勧めします。

受験から入学までにかかった費用のうち、予定と違って困ったこと



※大学生協(全国大学生協連)2023年調べ
調査対象:2023年に入学した新入生(学部生)の保護者19,664名
※複数回答可としているため合計は100%にはなりません。



スマホで
アクセスしてください

新美氏の
解説動画の視聴や
大学パンフ取り寄せが
できます



進学費用の問題を解決する方法はいくつもあります。
各家庭に合ったプランを一緒に探っていきましょう。

監修
新美 昌也氏

T&R コンサルティング有限会社代表。
ファイナンシャル・プランナーとして、
保護者向け進学マネー講座を開講している。



知っておきたい！費用のキホン

大学進学にまつわる費用や制度にはさまざまなものがあります。
すぐにでもその費用について準備しなければ、と考えが浮かぶかもしれません。
この章で基本的な情報を理解し、進学費用について家族で話し合みましょう。



費用のプランニングのために
知っておきたい「3つの時期」

子どもが安心して進学するため、
経済的サポートは欠かせません。例え
ば国立大学の授業料は2004年以降
長らく標準額でしたが、ここ数年値上
げする大学も増え、私立大学文系の平
均額に近づいてきています。

費用が発生するタイミングは、大きく
分けて次の3つです。

1つ目は受験期。受験料だけではな
く、遠方の場合には交通費・宿泊費など
もかかります。また、併願校が増えれ
ば増えるほど、費用はかさみます。

2つ目は合格してから入学までの時
期。合格後、短期間に初年度納付金を
支払ったり、新生活の準備をしたりす
る費用がかかります。総合型選抜、学
校推薦型選抜は、選考・合否発表が一
般選抜よりも早く、入学金などの支払
い時期も早いのが特徴です。

3つ目は入学後。毎年の学費など大
学に払う費用のほか、下宿生の場合
は仕送りが必要になります。

これら3つの費用は、進学先や自宅
通学か下宿かなどの状況によって大き
く異なります。まずは子どもと進路に
ついてよく話し合うことが大切です。

ポイント① 大学受験・進学に必要なお金

私立医・歯学、薬学系統はさらにお金がかかる傾向に

	国公立大学		私立大学文系		私立大学理系		
	自宅生	下宿生	自宅生	下宿生	自宅生	下宿生	
受験期 (受験料・受験時の交通費や 宿泊費など)	16万2300円	22万4300円	21万4900円	23万1100円	21万3800円	24万2700円	
合格～入学まで (初回の納付金・ 新生活の準備費用など)	134万6900円	210万3100円	148万3500円	227万8300円	169万9700円	250万5900円	
入学～ 卒業まで (4年間)	学費	191万3100円	192万3600円	355万4600円	353万6400円	496万3000円	503万5100円
	生活費	308万8320円	612万0000円	308万8320円	612万0000円	308万8320円	612万0000円
	生活費以外	183万8400円	190万0000円	183万8400円	190万0000円	183万8400円	190万0000円
合計	834万9020円	1227万1000円	1017万9720円	1406万5800円	1180万3220円	1580万3700円	

※進研アド2023年度調べ。「入学しなかった大学の納付金」「合格発表や入学手続き」の費用を含みます。

※学費につき、初年度は生協のデータ、次年度以降は文部科学省のデータを基に監修者が独自に試算したものです。



コレが大事!!

- 子どもの話し合いで無理のないマネープランを立てる。
 —— 誰がどこまで負担するのか。子ども、保護者? アルバイトは慎重に。
(p.38「家族進学マネー会議のススメ」を参照)
- 併願校に合格した場合に支払う費用が発生することを予定する。
- 奨学金は借りる可能性があるなら予約採用の申し込みをしておく。
- 奨学金は初年度納付金には使えないことに注意を払う。
 —— 教育ローンの利用も検討する。
- 貸与奨学金は返還しなければならないもの。借りすぎに注意する。

ポイント② 高等教育の修学支援新制度 支援1と2はセットで受けられる

支援1: 入学・授業料減免額*1

(住民税非課税世帯の学生の場合・上限・年額*2)

	国公立大学		私立大学	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学 (昼間制)	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円

※1文部科学省Webサイトより、一部抜粋して掲載。※2住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生は、住民税非課税世帯の学生の2/3または1/3の支援額となります。また、世帯年収600万円程度以下の世帯の学生で、多子世帯(扶養する子の数が3人以上である世帯)の学生は上記の金額の1/4の支援額、私立学校の理工農系の学部等に通う学生は文系との差額に着目した支援額となります。

支援2: 給付型奨学金の給付額*1

(住民税非課税世帯の学生の場合・月額*2)

	国公立大学		私立大学	
	自宅生	自宅外	自宅生	自宅外
大学 短期大学 専修学校 (専門課程) (昼間制・夜間制)	29,200円 (33,300円*3)	66,700円	38,300円 (42,500円*3)	75,800円

※1日本学生支援機構「給付奨学金案内」より一部抜粋して掲載。※2住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生は、上記の金額の2/3または1/3の支援額となります。また、世帯年収600万円程度以下の多子世帯(扶養する子の数が3人以上である世帯)の学生は上記の金額の1/4の支援額となります。*3生活保護世帯で自宅から通学する人および社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人は、カッコ内の金額となります。

2024年度に支援対象が拡大される制度などを事前に調べて検討を

ぜひ知っておいてほしいのが、子育て支援の観点から、授業料等減免と給付型奨学金をセットで行う「高等教育の修学支援新制度」です。住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯の高校生の大学進学率の向上を図るとともに、2024年度からは、多子世帯の中間層に支援対象を拡大します。併せて、私立学校の理工農系の中間層にも対象を拡大します。現行制度では、世帯年収380万円程度までを対象としています。新たに世帯年収600万円程度までを支援対象に拡大します。ただし、文部科学省公表の年収はあくまで「目安」です。給付される奨学金は原則として返還する必要がないので、該当すると思ったら、ぜひ申し込んでみましょう。支援を受けた学生が大学でしっかりと学び、社会で活躍できるようにさまざまな経済的な支援が増えています。

奨学金と教育ローンの違いを知り、上手に活用する

注意したいのが、奨学金の振り込みや入学金・授業料の減免が始まるのは入学後から、ということ。つまり、入学までの費用は各家庭で準備が必要

支給と返済のタイミングの違いに注目

ポイント③ 貸与奨学金と教育ローン

	日本学生支援機構奨学金	教育ローン
借主	学生本人	保護者
利子	在学中は無利子*	借りた翌日から発生
返済	貸与終了月の翌月から数えて7か月目の月	借りた翌月から開始
支給	入学後に毎月定額	一括振込 (学校に振り込まれる場合も)

※第二種奨学金(有利子)も在学中は無利子 ●両者は併用可能

のです。例えば、合格発表後の短期間で80万円ほどのまとまった資金が必要になります。特に初年度納付金は、併願校の納入期限が第1志望校の合格発表よりも早い場合、併願校の初年度納付金を支払う必要があります。この段階で資金が不足しそうならば、「教育ローン」などを検討することになります。教育ローンは、保護者が借り主となるなど、奨学金とは性質が異なります。その違いをよく理解して、上手にやりくりしましょう。なお、国の教育ローンでは、返済期間が延長されるなど、優遇措置も変わり、利用の幅が広がっているため新しい情報を確認しておきましょう。



費用検討の際に役立つWebサイト集

- 「受験生の保護者が使う本」特設サイト
<https://qrtn.jp/k7i3z>



動画の説明やマネー会議のワークシート記入例も!

- 日本学生支援機構 奨学金のことなら
奨学金の給付や貸与を受けることができるか知りたい
進学資金シミュレーター
<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>
毎月の返還額のシミュレーションをしたい
奨学金貸与・返還シミュレーション
<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>



- 全国大学生生活協同組合連合会 大学入学に必要なお金の試算ができる!
親子で要チェック! 大学生生活ハウマッチ
<https://www.univcoop.or.jp/parents/howmuch/index.html>

- 日本政策金融公庫 教育ローンを申し込みたいときは
国の教育ローン
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

他にも給付型奨学金を検索できるWebサービスもあります。

実録! 費用の「ヒヤッと」体験談

※大学生協(全国大学生協連)2023年調べ

受験料が想像以上にかかりました。1つの学科を受けるにしても、学部内併願、文系学部併願、高得点方式などさまざまな方法があり、安心感を得るために費用をかけすぎてしまいました。



(私立・文科系・自宅外)

学費の準備以外にも卒業旅行、大学生の必需品としてのPC関連費用、交際費、部活・サークル(運動系)の道具類、内祝いなどなど、入学に関連して予想以上にお金がかかります。



(国立・医歯薬系・自宅)

とにかく想定していたよりも金額がかかりました。奨学金で学費はどうにかなっても入学準備品には間に合わないの、ある程度まとまった金額は確保しておいたほうがいいと思います。



(国立・文科系・自宅外)



学校型選抜(指定校)で、12月初めには入学金、前期授業料とまとまったお金が必要でした。学資保険の満期など確認して準備しておくとういと思います。

(私立・文化系・自宅)

7/28
開催

保護者のための大学生生活入門セミナー が開催されます

主催：全国大学生生活協同組合連合会

詳細はこちら https://www.univcoop.or.jp/parents/pre_seminar/index.html

高校生の保護者を対象にした無料オンライン説明会を開催します。進学や大学生活にかかる費用について詳しい説明が行われます。

